

### 外部評価軽減要件確認票

【重点項目への取組状況】

重点項目	事業所と地域とのつきあい（外部評価項目：2）  ホームの立地を活かした取り組み・活動は継続されており、地域の一員としての生活を確立している。毎月の縁日のみたらし団子出店は、地域から依頼が来るほどになっている。	評価
重点項目	運営推進会議を活かした取組み（外部評価項目：3）  地域と協議する場として、最大限の活用がある。ホーム利用者が地域の中で暮らし続ける手立てを地域と共に考え、ホームの運営に反映させている。	評価
重点項目	市町村との連携（外部評価項目：4）  オーナー・施設長・ホーム長がこの任に当たり、法人全体として市との連携を行っている。運営に関する相談・連絡を通じ、相互で情報交換・収集を図り、良好な関係を築いている。	評価
重点項目	運営に関する利用者、家族等意見の反映（外部評価項目：6）  利用者意見に関しては、良好な関係の中での聴き取りに努めている。家族意見に関しても、来訪時・電話連絡時等、直接話をする機会に、意見の聴き取りを行っている。聴き取った意見は、職員周知・検討の上、運営に反映させている。	評価
重点項目	その他軽減措置要件 「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。 運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されている。 運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	評価   ×
総合評価		×

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

サービスの向上への意識は高く、利用者本位のサービスに対しても、本来目的を正しく理解した取り組みがる。ただ一点、運営推進会議の取り組み開始当初から問題となっている、市担当・地域包括支援センター職員のメンバー登録は未だかなわないことだけが残念である。
---

1. 外部評価軽減要件

別紙4の「1 自己評価及び外部評価」及び「2 目標達成計画」を市町村に提出していること。

運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されていること。

運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。

別紙4の「1 自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の2、3、4、6の実践状況（外部評価）が適切であること。

2. 外部評価軽減要件 における県の考え方について

外部評価項目2、3、4については1つ以上、外部評価項目6については2つ以上の取り組みがなされ、その事実が確認（記録、写真等）できること。

外部評価項目	確認事項
2. 事業所と地域とのつきあい	(例示) 自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。  地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
3. 運営推進会議を活かした取組み	(例示) 運営基準第85条の規定どおりに運用されている。  運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取り組みを行っている。
4. 市町村との連携	(例示) 運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。  市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
6. 運営に関する利用者、家族等意見の反映	(例示) 家族会を定期的（年2回以上）に開催している。  利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。  家族向けのホーム便り等が定期的（年2回以上）に発行されている。

(注) 要件の確認については、地域密着型サービス外部評価機関の外部評価員が事実確認を行う。